

茂原市 洪水ハザードマップ



自助+共助+公助が一体となって災害時の被害を抑える



災害から身を守るために
家族で定期的に防災について話し合しましょう!



〒297-8511 千葉県茂原市道表1番地
TEL (0475) 23-2111
茂原市ホームページ <http://www.city.mobara.chiba.jp/>



発行: 茂原市総務部防災対策課
茂原市都市建設部土木管理課 令和3年12月 制作: 北海道地図株式会社 千葉営業所

1 ハザードマップの活用法

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、ハザードマップを活用して自宅の災害リスクと取るべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？

必ず取り組みましょう!!

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

●ハザードマップは浸水や土砂災害が発生する恐れの高い区域を着色した地図です。ただし、着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？



いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、茂原市役所からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。



はい



災害の危険があるので、原則として*、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、

- ① 洪水により家屋の倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の**外側**である。
- ② 浸水する深さよりも**高いところ**にいる。
- ③ 浸水しても水が引くまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある。

以上の全ての条件を満たす場合は自宅に留まり**屋内安全確保**（在宅避難）をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

避難行動判定フローの解説

さらに詳しくは、右のQRコードから解説をご覧ください。



安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

はい

いいえ

警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら、茂原市役所が開設する**指定避難所に避難**しましょう。(避難所開設情報を確認しましょう。)

警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう。(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、茂原市役所が開設する**指定避難所に避難**しましょう。(避難所開設情報を確認しましょう。)


各項目を参考にして平素から災害に備え安全を確保しましょう。

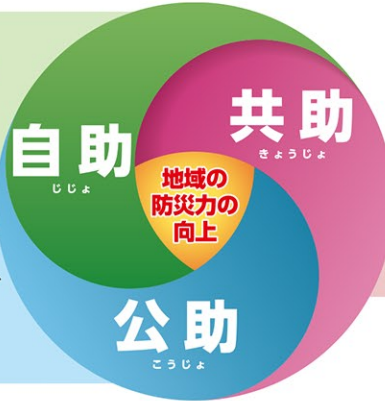
- 平素からの備え ▶ ②
- 梅雨時や台風接近時の備え ▶ ③
- 情報の収集と避難のタイミング ▶ ④
- 浸水想定区域での留意点 ▶ ⑤
- 土砂災害警戒区域での留意点 ▶ ⑥
- 竜巻発生時の留意点 ▶ ⑦

2 平素からの備え

自宅の災害リスクに応じて物心両面の備えをしましょう。
避難の必要がない場合も、停電や断水に備えましょう。

自助・共助・公助の連携 災害による被害を最小化するには、自助・共助・公助の連携が必要です。

 自分の身を自分の
努力によって守る




自助

地域の防災力
災害時の被害を抑える

共助

地域や近隣の人
が
お互いに協力し合う



 市をはじめ県、消防、警察、
自衛隊など
防災関係機関の行動

公助



自助 「自分や家族で出来る防災活動」 自分/家族

**3日以上飲料水や
食料、生活必需品の備蓄**

できれば
1週間分



普段の生活の中での準備を!
(例:ローリングストック法)

非常用持ち出し袋の準備



貴重品や懐中電灯、非常食、
救急用品など

家族会議を行う



家族内の役割分担、連絡方法
(災害用伝言ダイヤル171等)
や避難場所(集合場所)の確
認(マイタイムライン)など

**風水害に備えて家の
周りや建物を確認**



屋根のはがれや窓の補強、家
の周りの排水溝などを確認

 **チェック1 「家庭での備蓄と非常持ち出し品」を参照**

 **チェック2 「マイタイムライン」を参照**

共助 「隣近所や地域での防災活動」 地域/自主防災会/自治会

地域の防災点検



公園・広場等の位置や危険
箇所などの確認

自主防災組織の強化



訓練への参加、連携・
協力体制の確認

**避難行動要支援者(要配慮者)
への配慮**



支援が必要な人の把握、
支援体制づくり

避難所運営への協力



物資等の配布、生活環境を良
好に保つよう協力できる体制

公助 「防災関係機関での防災活動」 行政など防災関係機関

- 防災関係機関の災害対策などを定めた地域防災計画の作成
- 避難場所の指定及び備蓄物資、資機材の整備
- 公共施設の耐震化
- 防災施設(防災行政無線、備蓄倉庫など)の整備
- 災害発生時の救助活動
- 電気、ガス、水道などのライフラインの応急対策
- 自助・共助の取組みへの支援

3 梅雨時や台風接近時の備え

早期に情報を収集して身の回りの準備を確かめ、災害に備えましょう。

普段からどう行動するか決めておきましょう

行政が指定した避難場所への立ち退き避難



自ら携行するもの
・マスク ・消毒液
・体温計 ・スリッパ等



安全な親戚・知人宅への立ち退き避難

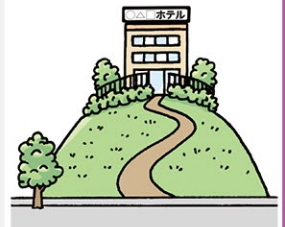
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。



※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。

安全なホテル・旅館への立ち退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。



※ハザードマップで安全かどうか確認しましょう。

屋内安全確保「3つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

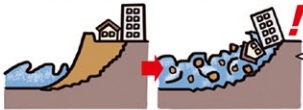
条件1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない(入っていると…!)

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)



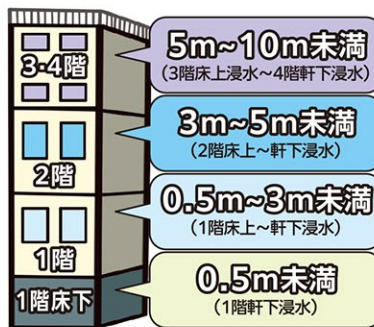
流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります。

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸浸食)



地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります。

条件2 浸水深より居室は高い



条件3 水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分(十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります。



梅雨や台風が近づいてきたら

避難施設・安全な避難路の確認を

自宅の最寄り避難施設とその場所、施設までの道順(避難路)を確認しましょう。また、家族の集合場所を事前に決めておいたり、避難路が安全に通行できるかを確認しておきましょう。



家のまわりを点検・整備

梅雨や台風期の前には、家のまわりの排水溝が詰まっていないかや、トタンのめくれ、アンテナの安定性等を確認したり、風で吹き飛ばされる物の撤去等が必要です。日頃の点検も忘れずに行いましょう。



非常備蓄品・非常持ち出し品の事前点検

いざという時のために、非常備蓄品や非常持ち出し品を準備しておきましょう。

【チェック1】を参考に、家族構成など考えながら備蓄品等を点検し、不足分を補いましょう。



正確な情報収集と避難の準備

テレビやラジオなどで最新の気象・災害情報を入手しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら自主的避難を開始しましょう。

※詳しくは④をご覧ください。



インターネットやアプリも活用しよう!



4

情報の収集と避難のタイミング

災害に関する情報を継続的に収集してください。
「警戒レベル4」で危険な場所から必ず避難してください。

主要な情報ツール

その他の情報収集手段は



「各種情報の収集手段」を参照

テレビ

「地デジ」による
防災・災害情報の
提供



※NHKデータ放送「dボタン」で確認

ラジオ

NHK第1:594kHz
NHK第2:693kHz
NHKFM:80.7MHz
ニッポン放送:124.2kHz
bayfm:78.0MHz



防災行政無線

しみんは いちいちきゅうばん

0120-438-119
(防災行政無線テレホンサービス)

このサービスは通話料無料で受けることができます。
放送内容が聞こえなかったり、聞きとりにくかった場合、
防災行政無線で放送した内容を電話で聞くことができます。

登録すると防災行政無線の内容を文字のメールで受信できます

もばら安全安心メール

【パソコン+スマホ】

<http://www.city.mobara.chiba.jp/0000000943.html>

【携帯】

<http://www.city.mobara.chiba.jp/m/page/0000000943.html>



避難警戒レベルに注意しましょう

テレビやラジオ、防災メールなどで発信される避難警戒レベルの情報を常に確認し、逃げ遅れをふせぎましょう。

災害の危険度	警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報と気象情報 ※1
高	5	すでに災害が発生しています 命を守るための最善の行動をとってください	避難情報 緊急安全確保 ※2 気象情報 大雨特別警報 氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難!>			
	4	危険な場所から 全員避難してください。 ③で決めた行動をとりましょう。	避難情報 避難指示 気象情報 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報
	3	危険な場所から 高齢者等は避難しましょう。 他の住民のみなさんは、 避難の準備をしましょう。	避難情報 高齢者等避難 ※3 気象情報 大雨・洪水警報 氾濫警戒情報
	2	避難に備え、ハザードマップなどにより 自らの避難行動を確認	気象情報 大雨・洪水・氾濫 注意報
低	1	防災気象情報などの最新情報に注意するなど、 災害への心がまえを高める	気象情報 早期注意情報(警報級の可能性)

*身の危険を感じたときには警戒レベルに関わらず避難してください。また、必ずしも段階的にレベル1から順に発令されるとは限りません。

※1:避難情報は市町村が発令します。気象情報は気象庁が発表します。

※2:市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、必ず発令される情報ではありません。

※3:高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

5 浸水想定区域での留意点

避難する場合の心得

ブレーカーを落とす

避難する前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。また、親戚や知人などに避難する旨を連絡しておきましょう。



二次災害を防ぐ!

助け合って避難を

できる限り1人での避難は避けましょう。高齢者や子どもは避難に時間がかかる場合があり、早めの避難が必要です。家族だけではなく、近所の人の避難にも協力しましょう。



避難が遅れたら

災害時、身に危険が迫っているが、安全な場所まで避難する時間がない場合、自宅や近くの建物の2階などへ緊急に避難する(垂直避難)。



履物に注意!

裸足、長靴は不可。ひもで締める運動靴を履く。避難に備えて、すぐに取り出せるところに各自1足準備する。



避難時の注意点

- 水面下ではどんな危険が潜んでいるか分からないため、棒や杖などで安全確認をしながら歩くようにする。
- はぐれないように、お互いに身体をロープで結んで移動する。特に小さい子供から目を離さないようにする。
- お年寄りや体の不自由な方は背負って移動し、幼児は浮き輪やベビースタrollerなどを利用して安全を確保する。



水の深さに注意!

水深が腰まであるときには無理をしない。避難が出来ない場合には、高い所で救助を待つ。
※要配慮者の方は水深が浅くても無理をせず早めに避難する。



車での避難はできるだけ控える

自動車での避難は緊急車両の妨げになり、避難所の駐車スペースも限りがりますので、できる限り控えましょう。また、自動車を、堤防や道路に放置しないようにしましょう。



車が浸水したらすぐ車外へ!

水深が約30cm前後に達すると、車のエンジンが停止し、水深と流速が増すと車ごと流される危険性もあります。車が浸水した場合は、すぐに外に出ましょう。



調べる 各種情報の収集手段

国土交通省

気象庁

●防災情報

【パソコン】 <https://www.jma.go.jp/jma/menu/menufash.html>

●リアルタイム川の防災情報

【パソコン】 <https://www.river.go.jp/portal/#80>

【スマホ】 <https://www.river.go.jp/s/xmn0105010>



千葉県

●千葉県防災ポータルサイト

千葉県内の緊急ニュース、災害情報、天気、地震、交通運行情報等を見ることができます。また、大雨や洪水などの警報・地震や津波の情報などが届く、防災メールの配信も行っています。

【パソコン+スマホ】 <http://www.bousai.pref.chiba.lg.jp>



●千葉県土砂災害警戒情報システム

【パソコン+スマホ】 <http://dosyabo.bousai.pref.chiba.lg.jp/>



●ちば防災メール

【パソコン+携帯】 <http://chibapref2.bosai.info/bosaimail/>



茂原市

●茂原市防災情報

【パソコン】 <http://www.city.mobara.chiba.jp/category/1-5-2-0-0.html>

●茂原市気象情報

【パソコン】 <http://dim2web09.wni.co.jp/mobaracity/pinpoint/index.html>

●茂原市ホームページ

【パソコン+スマホ】 <http://www.city.mobara.chiba.jp/>
【携帯】 <http://www.city.mobara.chiba.jp/m/>



スマホ

緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などをいち早くお知らせ。
※無料アプリをダウンロードしてください。



Yahoo!防災速報アプリ

災害用伝言ダイヤル171

●自分の無事を知らせるために録音する

伝言を録音する 171 → 1 → 自宅の固定電話番号 (市外局番から) → 1 # 「録音」する (30秒以内)

●相手の無事を確認するために再生する

伝言を再生する 171 → 2 → 相手の固定電話番号 (市外局番から) → 1 # 「再生」が始まる

6

土砂災害警戒区域での留意点

土砂災害警戒区域

土砂災害警戒区域とは、土砂災害防止法に基づき土砂災害のおそれがあるとして県が指定した区域です。
市内には、多数の危険箇所があるため、県では、継続して指定を進めていく方針です。家屋の付近でがけ崩れのおそれがある場所では、指定にかかわらず注意が必要です。

●千葉県 土砂災害警戒区域等の指定

【パソコン】 <https://www.pref.chiba.lg.jp/kakan/sabou/keikai/>

(注) 土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、生命・身体に著しい危機が生じる恐れがある区域を、「**土砂災害特別警戒区域**」に指定しています。

土砂災害と注意事項

雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意

雨が降り出したら、「**土砂災害警戒情報**」に注意しましょう。土砂災害発生の危険度が高まったときに、市町村長が避難指示などを発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

避難の方法

避難指示が発令されたら早めに避難

お住まいの地域に避難指示が発令されたら、早めに近くの避難場所など、安全な場所に避難しましょう。また、強い雨や長雨のときなどは、防災行政無線や広報車による呼びかけにも注意しましょう。

お年寄りや障がいのある方など避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めの避難を心掛けるようお願いします。

土砂災害の前兆現象に注意

がけ崩れ



土石流



特 徴

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象。
崩れ落ちるまでの時間がごく短い
ため、人家の近くでは逃げ遅れも発生し、人命を奪うことが多い。

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象。
時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまう。

主な前兆現象

- ・がけにひび割れができる。
- ・小石がパラパラと落ちてくる。
- ・がけから水が湧き出る。
- ・湧き水が止まり濁る。
- ・地鳴りがする。

- ・山鳴りがする。
- ・急に川の水が濁り、流木が混ざり始める。
- ・腐った土の臭いがする。
- ・降雨が続くのに、川の水位が下がる。
- ・立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

7

竜巻発生時の留意点

① 竜巻が発生するような発達した積乱雲の近づく兆し

- A 真っ黒い雲が近づき、周囲が急に暗くなる。
- B 雷鳴が聞こえたり、雷光が見えたりする。
- C ヒヤッとした冷たい風が吹き出す。
- D 大粒の雨やひょうが降り出す。

② 発生時に屋内にいる場合

- A 窓を開けない、窓から離れる、カーテンを引く。
- B 雨戸・シャッターを閉める。
- C 1階の家の中心に近い、窓のない部屋に移動する。
- D 頑丈な机やテーブルの下に入り、両腕で頭と首を守る。

③ 発生時に屋外にいる場合

- A 車庫・物置・プレハブを避難場所にしない。
- B 橋や陸橋の下に行かない。
- C 近くの頑丈な建物に避難する、または頑丈な構造物の物陰や近くの水路やくぼみに身を伏せ、両腕で頭と首を守る。
- D 電柱や太い樹木であっても倒壊することがあり危険であるため近づかない。
- E 雷が発生する場合があるため落雷に注意する。



気象情報の確認

●竜巻注意情報

【パソコン】 <https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=tornado>



●気象庁ナウキャスト(雨雲の動き・雷・竜巻)

【パソコン】 <https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/>



チェック1

家庭での備蓄と非常持ち出し品

外部からの救援物資などが届くまでの数日間(最低3日分、できれば1週間分程度)を自足できるように準備しておきましょう。

非常備蓄品

- 飲 食 料 品 ▶ 米や簡単な調理で食べられるものを最低3日分、水は1人1日3リットル
- 食 器 ・ 箸 類 ▶ 箸・スプーン・紙コップ・紙皿など、食品用ラップやアルミホイルは皿代わりにも使用可
- カセットコンロ ▶ 予備のガス缶も用意
- 生 活 用 水 ▶ 断水に備え、ポリタンクや浴そうに水道水をためておく
- 衛 生 用 品 ▶ マスク、体温計、除菌用アルコール、ウェットティッシュ、ドライシャンプー、簡易トイレなど
- 照 明 用 具 ▶ マッチ・ろうそく・ライター・ランタンなど持ち運びができ、すぐに点火できるもの

コロナ対策を万全に!



非常持ち出し品

- 貴 重 品 ▶ 現金・預金通帳・キャッシュカード・印鑑・健康保険証・運転免許証など
- 避 難 用 具 ▶ 懐中電灯・携帯ラジオなど、予備の電池も忘れずに用意
- 救 急 用 具 ▶ 絆創膏・包帯・消毒液・常備薬・持病薬、おくすり手帳も忘れずに
- 非 常 食 ▶ 乾パンや缶詰など火を使わなくても食べられるもの、アレルギー対応食なども
- 飲 料 水 ▶ 持ち運びできるペットボトル入りのもの
- 生 活 用 品 ▶ 洗面道具・ティッシュ・携帯用トイレ・生理用品・ビニール袋・軍手・メガネなど
- 衣 料 品 ▶ 下着・靴下・長袖・長ズボン・雨具など、季節によっては防寒具、カイロの用意

両手が使えるリュックサックが便利!!



赤ちゃんや高齢者のいる家庭は必要に応じてプラス+

- 粉ミルク・ほ乳びん
- ベビーフード・おやつ
- 紙おむつ・おしりふき
- 絵本・おもちゃ
- 簡易トイレ
- 大人用紙おむつ
- 介護用品
- 予備のメガネや補聴器 など

チェック2

マイ・タイムライン

「マイ・タイムライン」とは、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動計画表です。急な判断が迫られる洪水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

マイ・タイムライン 記入表

※自分たちの行動を書き込みましょう。

おおよその時間 (目安)	気象情報など	私の備え(例)	私の備え
3日前	台風予報	テレビの天気予報	
1~半日前	大雨・洪水注意報	持って行く物を準備する	
数時間前	大雨・洪水警報	避難場所、避難手段を確認	
	氾濫注意水位到達	避難しやすい服装に着替える	
	高齢者等避難	安全な所へ移動を始める	
0時間	避難指示	避難を完了	
	氾濫発生	情報の確認と身の安全確保	

家族の
集合場所

例:〇〇避難場所、親戚〇〇宅

緊急
連絡先

例:災害用伝言ダイヤル171, 親戚〇〇宅への連絡